

愚図愚図散歩142 日日是好日125

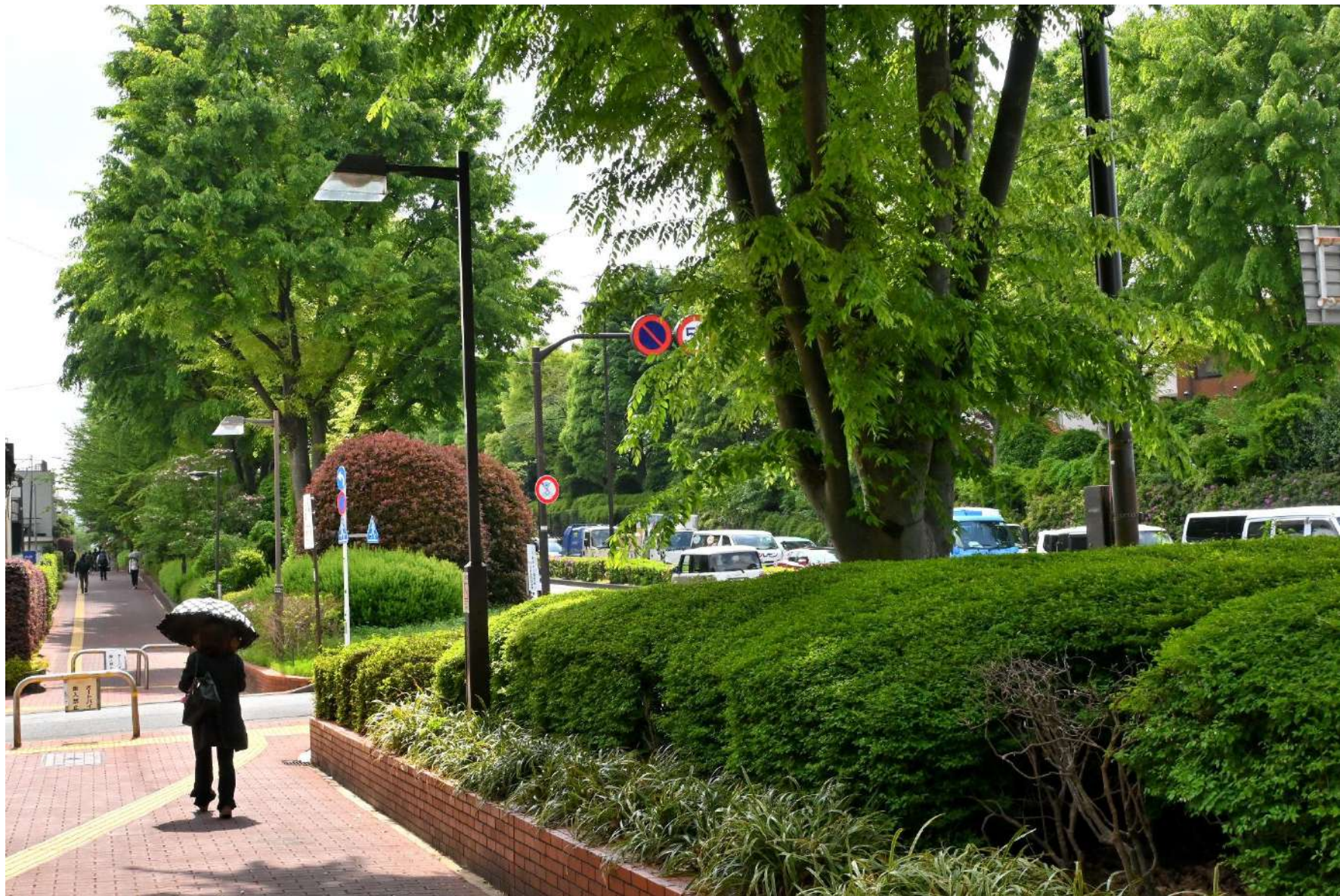
2025.06.01.

制作・撮影 浦野俊之





今の季節ゆっくり歩いてお花見三昧。



新緑の季節がやって来ました。武蔵野病院前交差点から要町までの通りは、生き生きとした姿に変身しました。





もう緑の家も新緑で覆われています。(豊島区要町1-18)







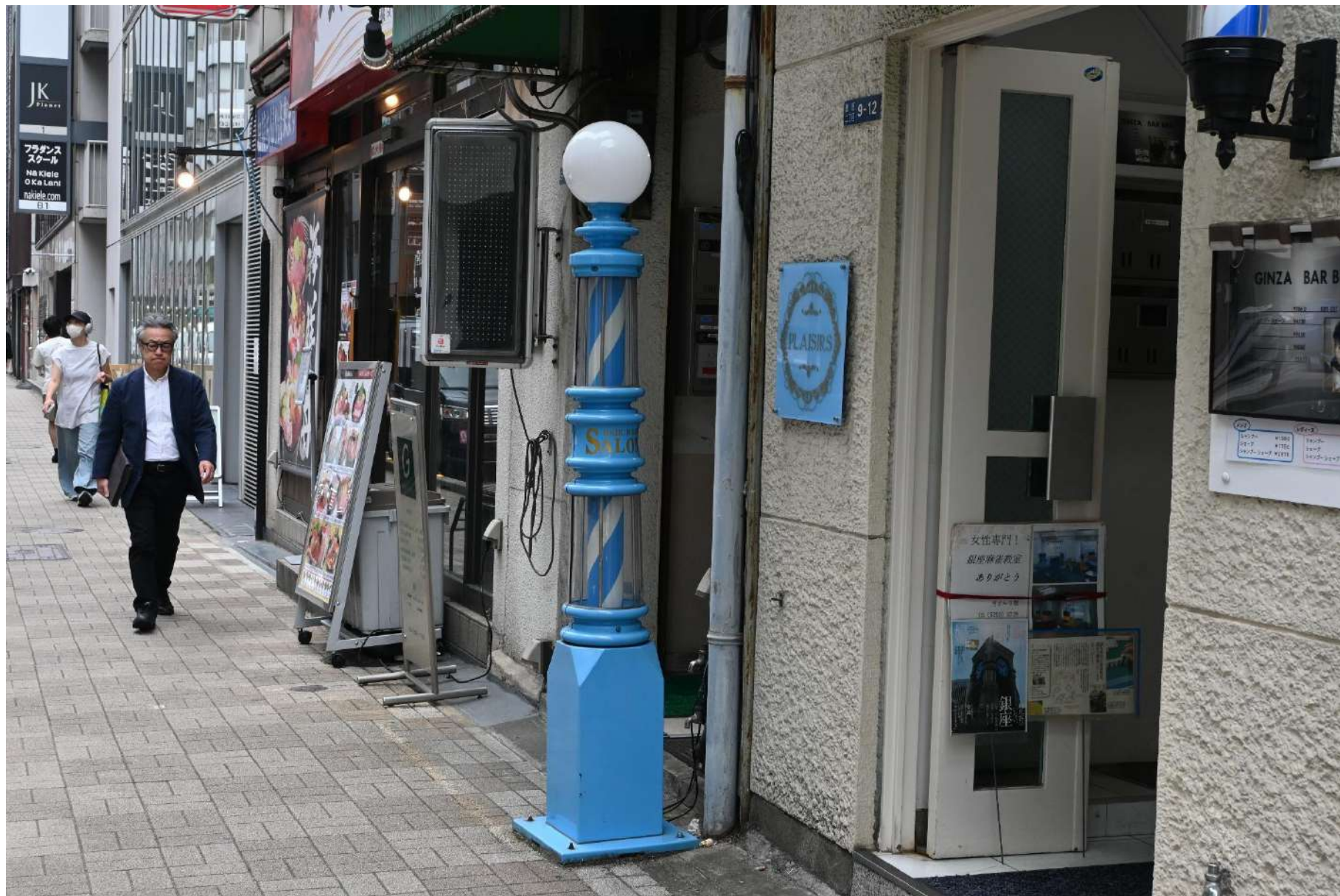
塀と家との狭い空間に何やら鬼に守られている様に、井戸が残っています。
(豊島区千川1-22-12)



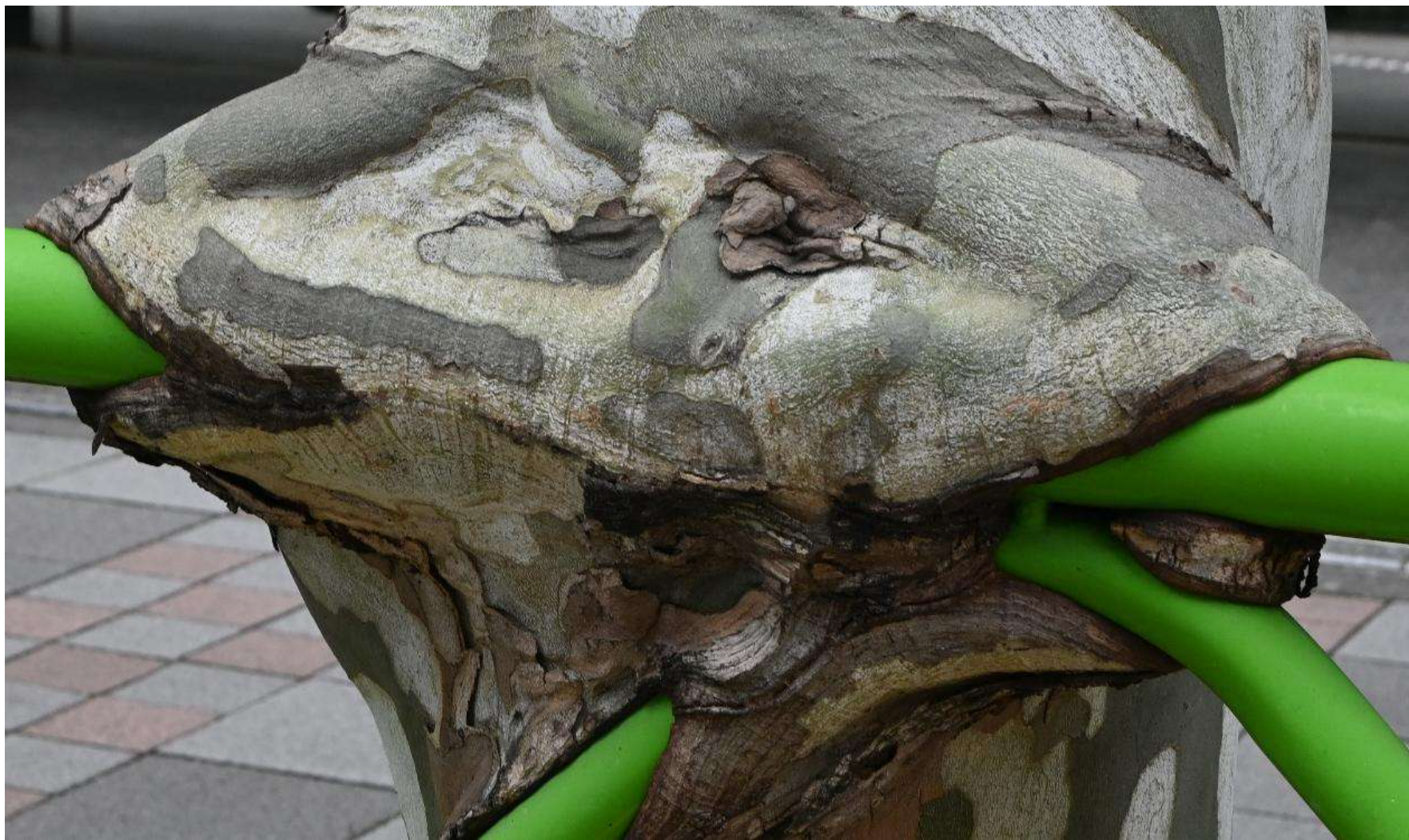
丹精込めたバラのアーチ、綺麗ですね。



この形状の赤と白のサインポールを初めて見ました。よく見ると、青が退色して白地が大きくなってしまった様です。それでもくるくる回って、老舗の床屋さんだと主張しています。最近では色々な色があるようですが、この状態で見るのは、初めてです。
(足立区関原3-30)



今迄色々な理髪店のサインポールを撮影して来ましたが、またまた、水色と白の変形サインポールに出会いました。
(中央区銀座2-9-12)



困ったなーと困惑した顔の、マロニエさん。



小さなお店で、老人が何かを食しながら、駄弁って居るのかと遠くから見でしたが、その後しばらくして、お客のいなくなったお店に戻って見ますと、何かを商う店舗ではなく、ご近所の老人たちの自由におしゃべりが出来る、私設の出会いの場の様でした。
(江東区石島6-5)

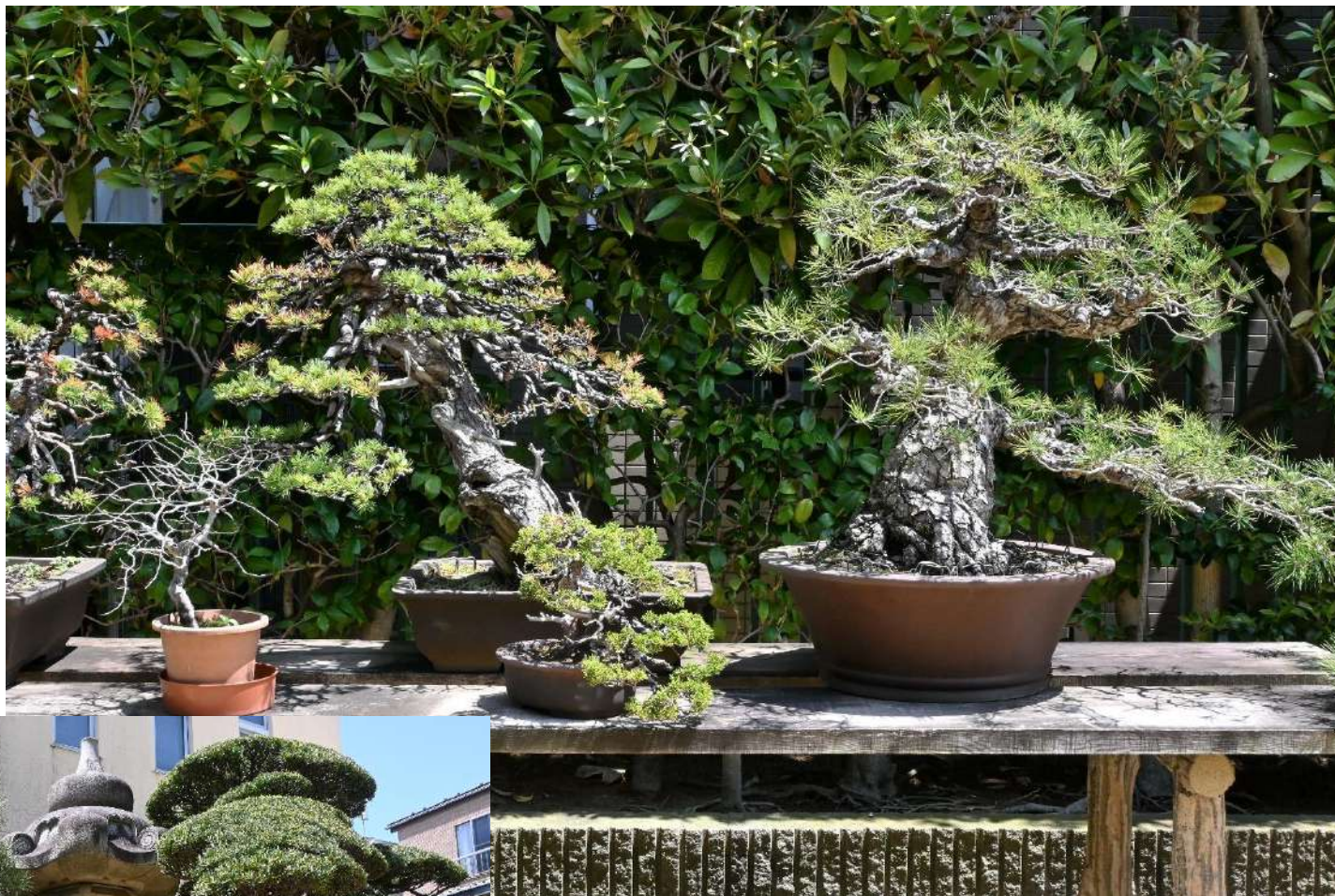


久しぶりに奥沢神社に来ました。鳥居に大きな目をした藁の大蛇が巻き付けられています、蛇の形を作り担いで歩く祭りは全国的にあるものの、藁で作られた大蛇が街を巡回する奥沢神社の行事は都内では唯一となる珍しいお祭りでもあるそうです。



東京タワーの鯉のぼりを見に行きました。





灯籠のあるお宅の前庭に、高価そうな盆栽が並んでいました。
まだ趣味で盆栽を育てている人が居るのだなと感心しました。
(江戸川区上篠崎4-22)



本郷給水所公苑傍のトーキョーアーツアンドスペース本郷で高橋直宏制作「インフラ・ヒュー/マンと3つのC」の作品に出会いました。新鮮な表現を持つとても共感の出来る若手アーティストです。『高橋は本展でさまざまな制度や技術の中で切断、加工、再構成される身体に着目し、異なる作品を接合した人体彫刻によって、社会システムにおいて私たちを切断するもの、人間、非人間の関係をいかに表現するかを検討する。コピペ』難しい解説ですが表現に共感できるフォルムが素晴らしく感じました。(文京区本郷2-4-16)



手漕ぎ和船で春うらら、乗ってみたい新川で。



時事通信社前の並木は初めて見る脇枝を生かした魅力的な方法で並んでいました。(中央区銀座5-15-8)



雨の日のカラーの白い花



五月に入り、春バラの季節になりました。今日は天気が良く、空は青く気持ちの良い一日です。与野公園のバラ園は昭和52年（1977年）に開園し、現在約200種類、約3,000株が咲き誇ります。寒い冬を乗り越えた春バラが見ごとに咲いています。





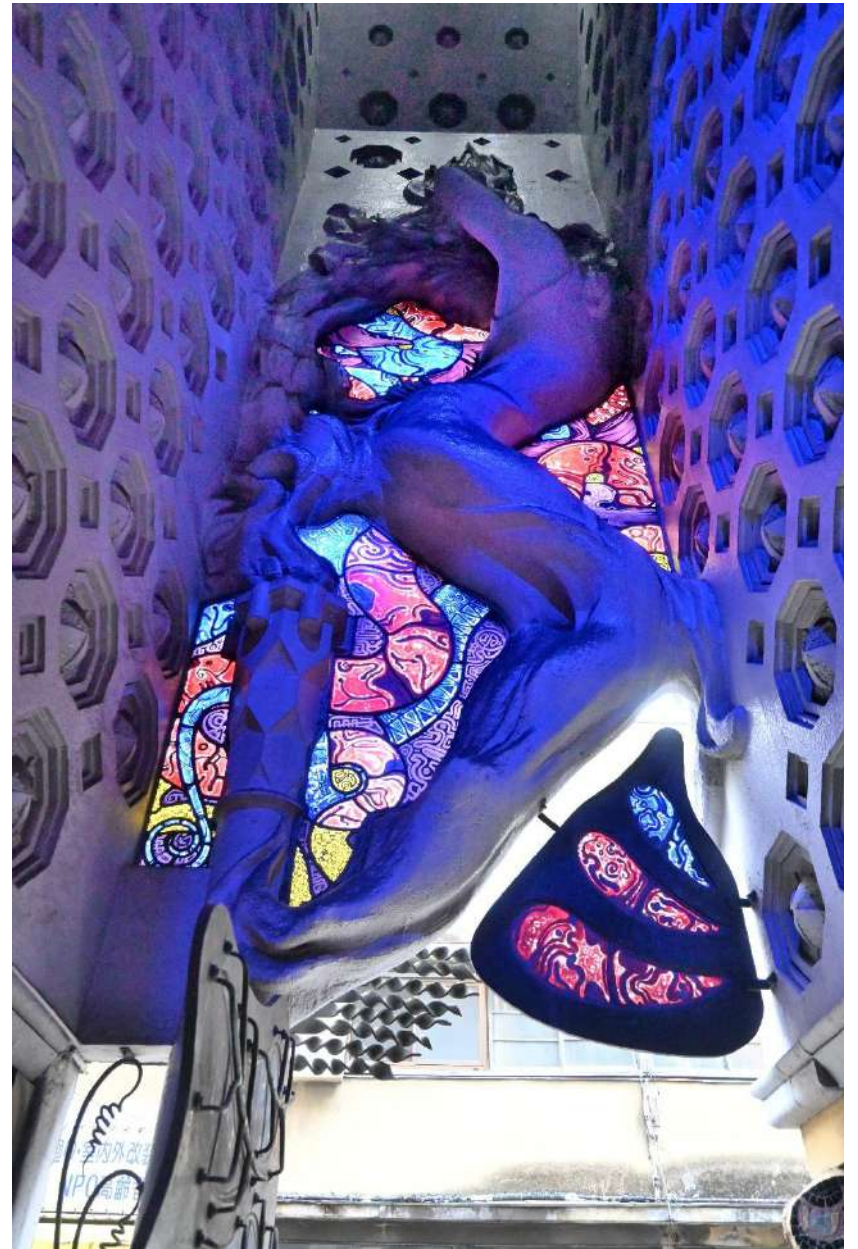




梵寿鋼設計の異様な魅力の建築に出会いました。建築内にも入り撮影しましたが、ステンドグラス、タイル等、正面の彫刻の魅力に勝る美しさがありました。建造物全体が芸術作品だと感動しました。(川口市西川口3-31)



LA PORTA IZUMI (杉並区和泉2-27-27)





マインド和壺(杉並区和泉1-4-8)

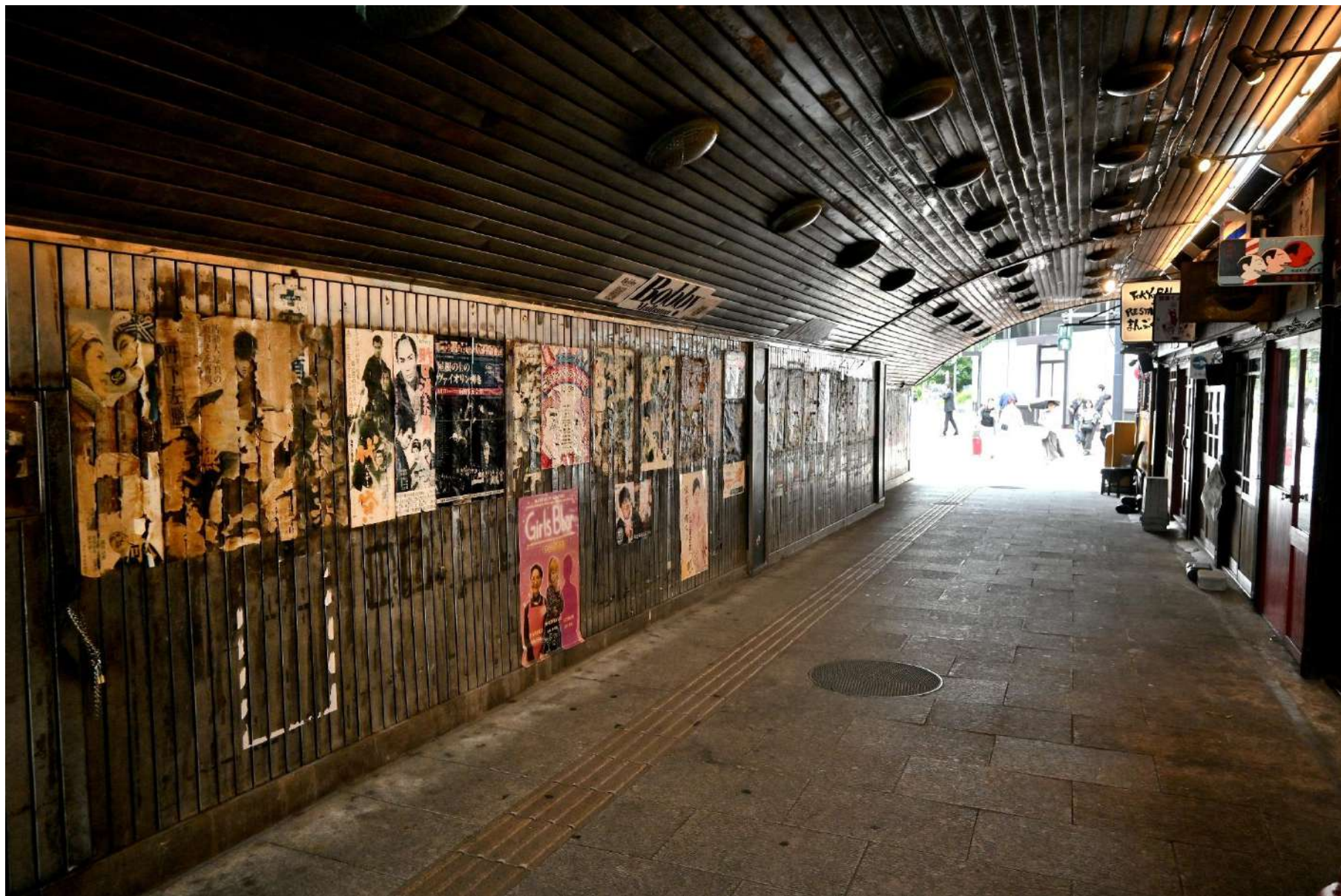




外だけではなく、店内迄派手派手色使いの床屋さん、最近では、床屋さん迄明るく色彩豊かになったのですネ。
(武蔵野市境南町2-1)



銀座に来ると明るく綺羅美やかなショーウィンドーに感動します。(FENDI ギンザSIX)



有楽コンコースを歩くと古い映画ポスターが貼られています。若い頃を思い出す石原裕次郎、植木等、萬屋錦之介、東千代之介等の60年程前の映画スター出演のポスターです。如何してここに貼られているのか不思議でした。ある説ではコンコースの中の一軒、まんぷく食堂のオーナーが個人的に展示、管理をしているのだそうです。

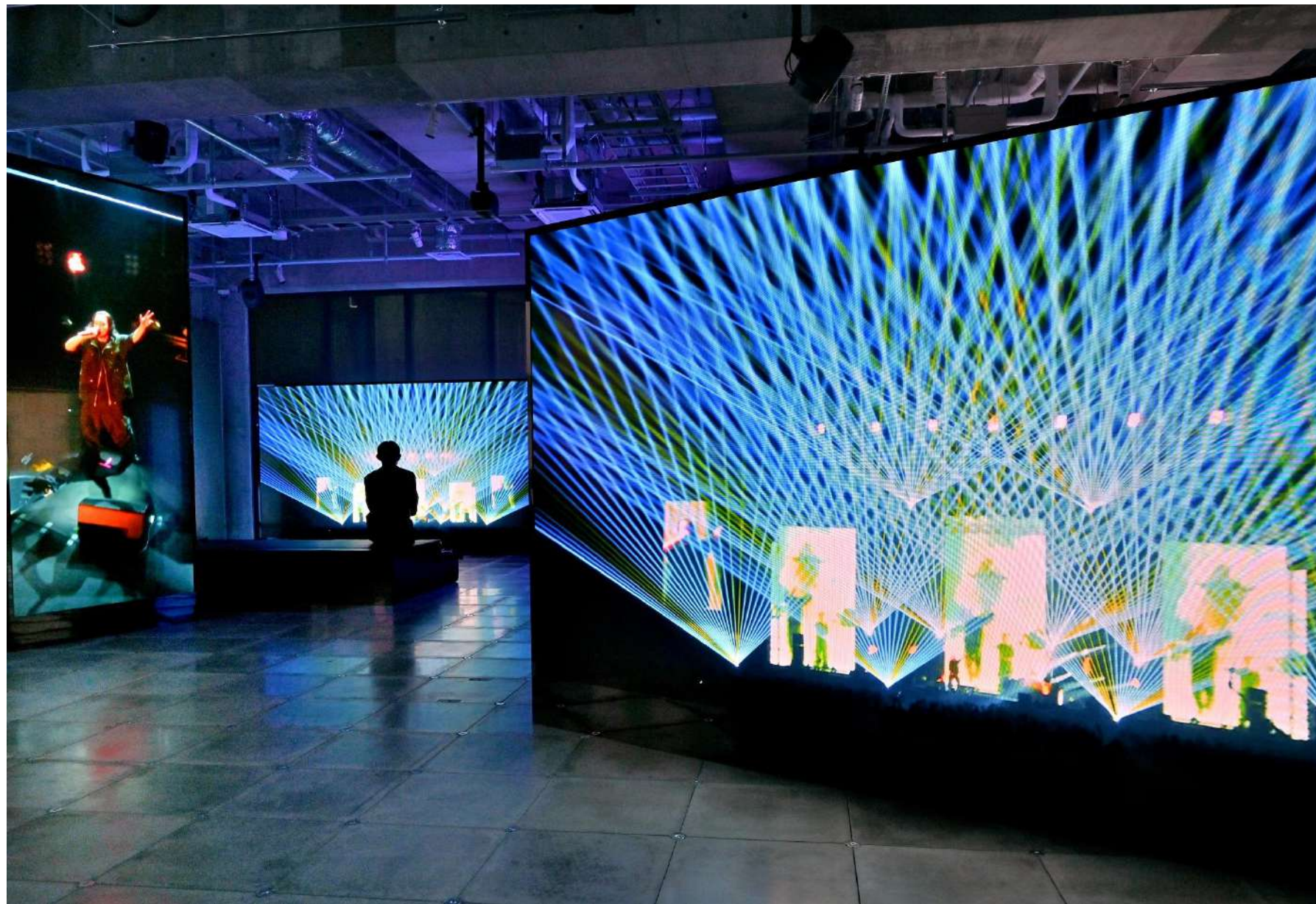




久し振りに東博に行き、伝小田野直武(1749～80)筆布袋図を見て驚きました。夫婦円満、財福上昇、笑門来福、商売繁盛、無病息災がご利益のニコニコ顔の布袋様のはずが、何か憤怒の形相で描かれた掛け軸が展示されていました。こんな怖い布袋様を今迄観た事ありません。どのような必要があり、この様な顔を画家は描いたのでしょうか？



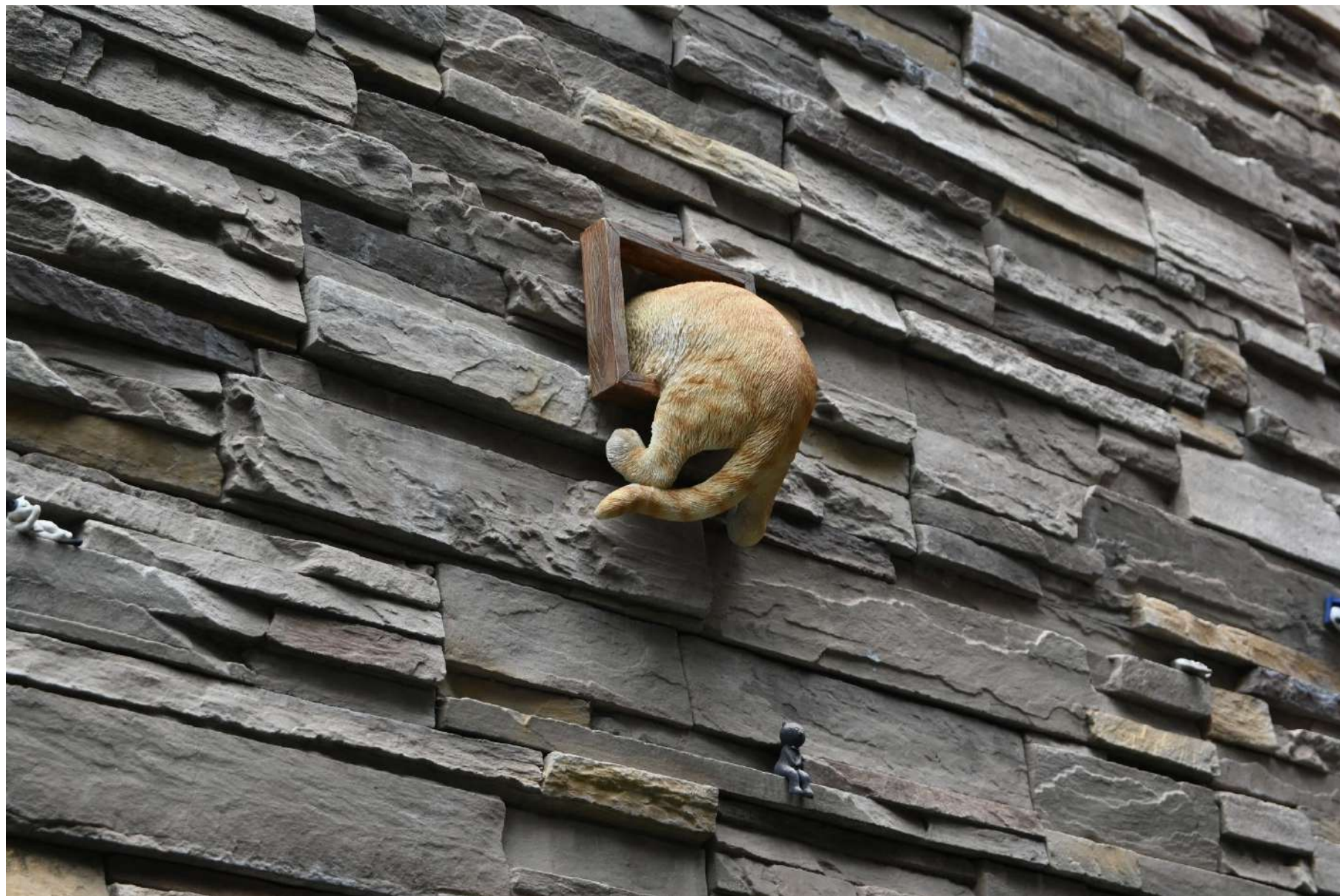
見事なサツキの植込みです。神田和泉町ビルの前空間の花道です。



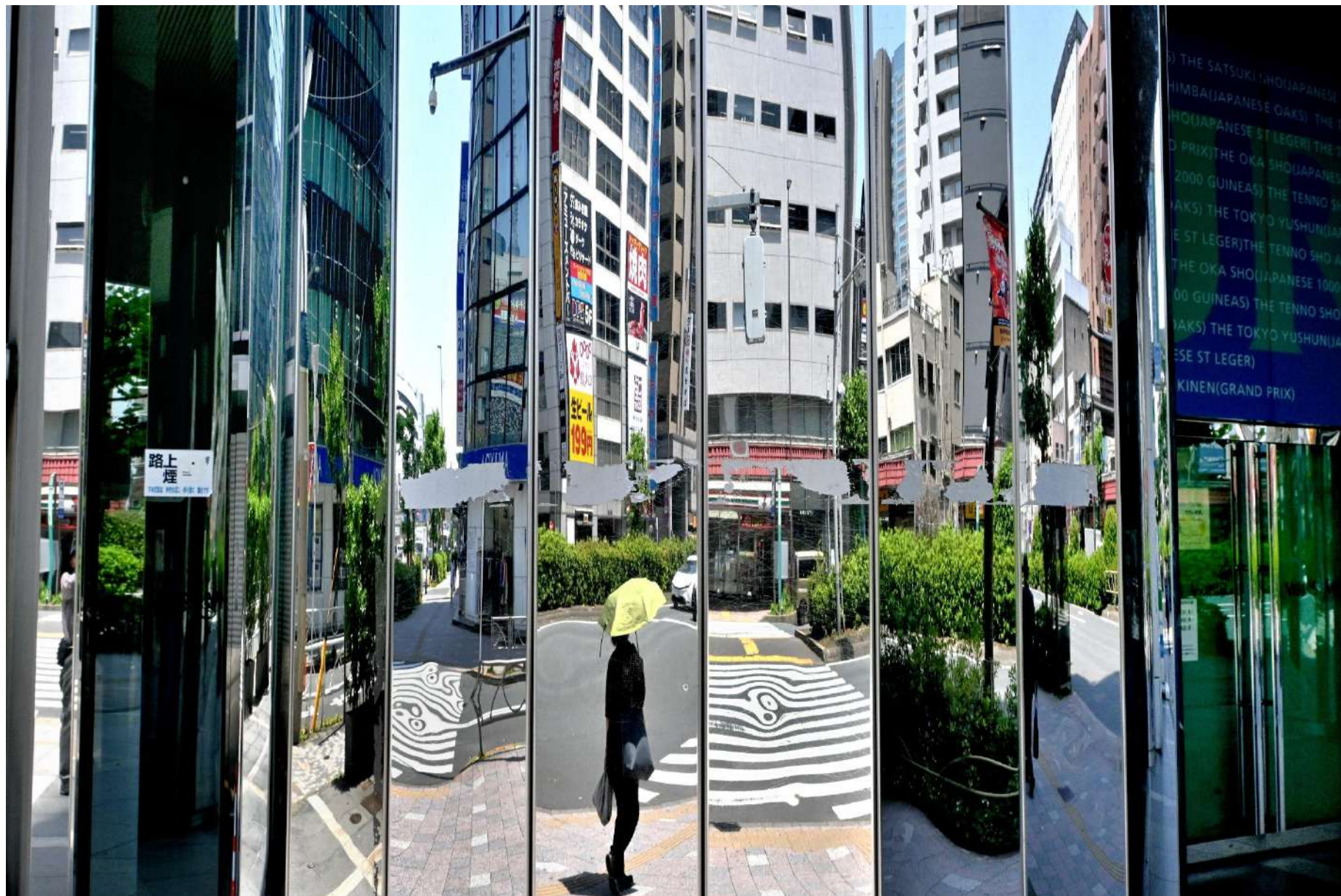
数寄屋橋のGinza Sony Parkのグランドオープンをむかえた『Sony Park展 2025』を体験して来ました。鏡で仕切られた8台の高画質のディスプレイが鏡に多面に写る会場で、20台のスピーカーで構成する立体音響により、臨場感溢れる音楽を聴きながら回遊する面白さ、たのしさ、『Bling-Bang-Bang-Born』の演奏を聴き、座した椅子のソニーの触感提示技術を体感、夢から覚めた時を過ごしました。



可愛い愛犬



猫が石壁の小口から入ろうとしている！『ここは、神田和泉町のネコちゃんの棲むカフェ、店内にはネコちゃんグッズはもとより本物のネコちゃんも何匹かいるというお店です。普通の家のように玄関で靴を脱いで上がるスタイル。ネコが逃げ出さないようにゲートが2つ設置しており、それを開けてもらってから上がります。コピペ』Café Damiano 千代田区和泉町1-5-3)



都会の風景